

科目名	科学哲学	科目コード A0010
-----	------	----------------

学科名・学年	全専攻1学年 (プログラム3学年)	担当教官	鈴木 覚		
単位数	2単位・選択	開講期間	前期	時間数	30時間
				内訳 <small>(時間)</small>	講義(28), 演習(0) 実験(0), その他(2)
教科書	滝口清栄他: 21世紀の倫理 - 歴史・思想・課題 - (DTP出版)				
補助教材	プリント				
参考書	藤本温編著: 技術者倫理の世界 (森北出版)				

A 科目の概要	
現代の応用倫理学の諸分野を学ぶ。倫理学の主要な仕事は、人間に「できること」を、それが本当に「してよいかどうか」考察することである。技術の進歩は、人間に「できること」の領域を拡大させた。この新たな状況に対応するのが応用倫理学である。これを学ぶことによって、技術と倫理の問題について理解を深めたい。	
B 到達目標	
生命倫理の諸問題について理解する。 環境倫理の主張について理解する。 技術者特有の倫理とは何かを理解する。 あるべき技術者像を思い描けるようになる。	
C 長岡高専の学習・教育目標との対応	(A)
D 履修上の注意	
様々な問題に対し想像力を働かせ、当事者意識をもって積極的に臨んでもらいたい。また、技術と倫理に関する新聞やテレビのニュースにも、日々関心をもって接してもらいたい。	
E 評価方法	
生命倫理の諸問題についての設問により理解度を評価する。(10%) 環境倫理の主張についての設問により理解度を評価する。(20%) 技術者特有の倫理とは何かについての設問により理解度を評価する。(50%) あるべき技術者像とは何かについての設問により評価する。(20%) 定期試験【70%】(前期中間(0), 前期末(70))、その他の試験【0%】、レポート【0%】、 その他【30%】(プレゼン(20), 授業への参加度(10)) の割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。60点以上を合格点とする	

F 授業計画・内容		
週	内 容	備 考
1	科学・技術と人間	
2	生命倫理(1) - 生命の神聖さと生命の質 -	
3	生命倫理(2) - 生殖技術とクローン -	
4	生命倫理(3) - 優生思想 -	
5	情報倫理 - 情報化社会のゆくえ -	
6	環境倫理(1) - 非人間中心主義 -	
7	環境倫理(2) - 未来世代への配慮 -	
8	技術者倫理(1) - 技術者倫理の必要性 -	
9	技術者倫理(2) - 技術者の責務 -	
10	技術者倫理(3) - 技術者と法 -	
11	技術者倫理(4) - 技術者と企業倫理 -	
12	技術者倫理(5) - 技術者と環境 -	
13	技術者倫理(6) - 事例に学ぶ 1 -	学生によるプレゼン
14	技術者倫理(7) - 事例に学ぶ 2 -	学生によるプレゼン
15	試験	
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		